

# セントヘレンズ火山とフッド火山

＜須 藤 茂＞

米国本土北西部には、大きな都市の比較的近くに火山がいくつもあります。それらの中には将来災害をもたらす可能性のある火山もありますが、平常時には観光客が訪れ、自然を堪能しています。それらのうち現在も活動を続けているセントヘレンズ火山とポートランド東方に聳え立つフッド火山を紹介します。写真4以外は2006年撮影です。本文参照。



写真1 南西上空より見たワシントン州南部の3大成層火山。左からレーニア(4,392m)、セントヘレンズ(2,549m)、アダムズ(3,742m)。手前はコロンビア川(右から左へ流れています)。

写真2 火口の北方約9kmにあるジョンストンリッジ観測所(JRO)から見たセントヘレンズ火山。



写真3 JROから見た火口内の新溶岩。中央が1980-86年溶岩、その上から右奥が2004年-溶岩で、煙が出ているところに「ひれ」(fin)が見えます。左と右に流れ下っているのは溶岩ではなく氷河です。

写真4 雲海に突き出たセントヘレンズ火山。南東上空より、この写真のみ1989年撮影。中央の雲の盛り上がりは地形によるものでしょうか、溶岩の熱によるものでしょうか？

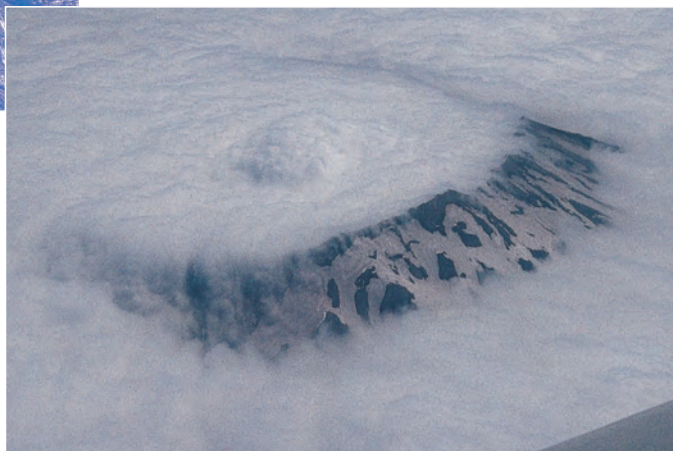




写真5 コロンビア川の港に接岸している長さ約200mの船(手前), パンクーバー市の倉庫群, セントヘレンズ火山(遠景). この船は, ワシントン州及びオレゴン州などから集められた小麦を積んで, 主にアジアに運びます. このすぐ左には, 日本の自動車会社の積み下ろし港があります.



写真6 1980年噴火で破壊された地域の森林の復興作業. 26年間でこれだけ成長しました. さらに作業がヘリコプターを使用して進められています.



写真7 南南東から見たフッド火山(3,426m). 左(南斜面)は崩壊した後火砕流に, 右(北斜面)は崩壊後溶岩にそれぞれ覆われました.

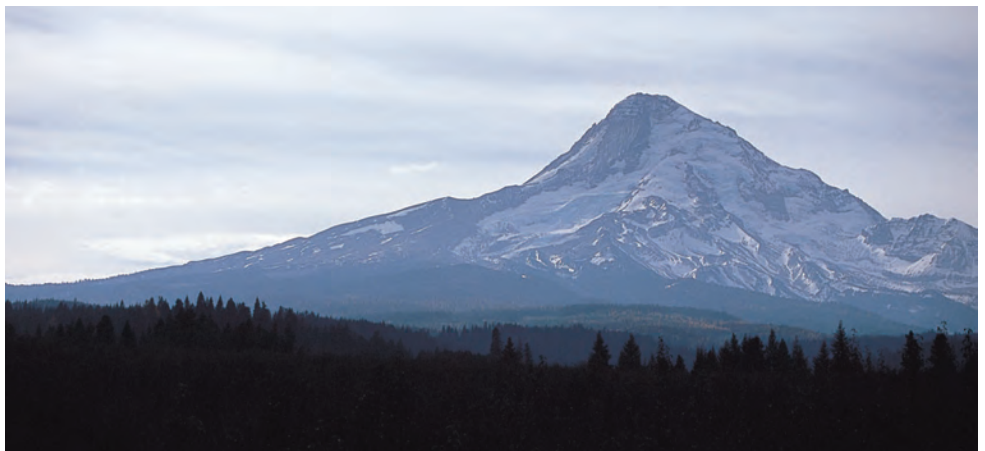


写真8 北北東から見たフッド火山. 北斜面の溶岩はほとんど氷河に覆われています.